

6人の議員が町政を問う



6月定例会の初日(6/3)に次の事項について一般質問が行われた。(通告順)

◆ 中村 忠行 議員 …… P5

- ① 県立新庄南高等学校金山校への支援は
- ② 随意契約の透明性は

◆ 栗田 保則 議員 …… P6

- ① 町長の4選出馬の考えを伺う
- ② テレビ難視聴地区大規模改修は

◆ 大場 洋介 議員 …… P7

- ① 人口減少打開のための子育て世代への支援の拡充は
- ② 高齢者の医療費負担の軽減は

◆ 沼澤 道也 議員 …… P8

- ① 地域おこし協力隊のこれからは
- ② インバウンドの取り組みは

◆ 星川 智子 議員 …… P9

- ① 貸工場に関連する契約は
- ② 定住促進住宅建設の休止は

◆ 寒河江宏一 議員 …… P10

- ① 金山町が進めて来た公営住宅事業の成果と今後は

一般質問とは

年4回の定例会で行う。議員が町の行政全般について、事業執行の状況や将来の方針等について所信を質し、あるいは、報告や説明を求めるなどの政策論議の場である。

町議会では、質問要旨を事前に通告することとし、60分という限られた時間内で、大所高所からの建設的で簡明な質問が求められている。

新庄南高金山校への支援を

【回答】 専門職大学に連携の新設科を要望



中村 忠行 議員

新庄南高金山校の
存続に向けての
支援策は

中村忠行議員 今年度は新庄南高金山校への入学者が15名となり、来年度も入学者が入学定員の2分の1に満たない場合は、募集停止となる。

町にとつては、定住促進、産業振興等、大きな影響がある。町からの支援策は、教育長職務執行者新庄南高金山校の特色ある学校づくりのため、学習支援補助金、スポーツ振興補助金、通学

費支援補助金を予算計上し、今年度は台湾修学旅行経費も助成する。

また、地域エコノミストとして活躍している、藻谷浩介先生を講師にお招きし、これからの時代、地方で生きることがいかに大切であるか、生徒と保護者に聴いていただいた。

また、山形県が農業をけん引する専門職大学の検討を進めていることに関連し、金山校に普通科の他に、県の専門職大学と連携できるような独自の新設科を開設できるよう、強く要望していく。

金山校の存続につながる支援については、急げることは急いで行う。

佐藤教学課長 昨年度新庄南高のALTのパコ先生のご協力のもと、短期間ではあるが、町民を対象とした英会話

教室を開催した。

今後、金山校やパコ先生とも相談し、生徒の向上心につながるよう、他の教科の選択も含め検討したい。

また、大江町では、生徒が就職や進学に資する資格、または免許を取得する費用の助成制度を平成30年度から実施している。

金山校でも受験者数は少ないにしても、これまで英語検定や数学検定、ビジネス文書検定、さらには危険物取扱者試験内種を受験した生徒がいる。

金山校の生徒が就職や進学に資するためには、資格を取得することは、学校生活において、常に将来の目標を掲げ充実した学校生活にもつながり、金山校の魅力となり、国家資格、国家検定等以外の資格取得の支援について、学

校と協議しながら検討したい。

その他の質問
● 少額随意契約の透明性は



藻谷氏が中学生にもメッセージ (5/31)